

「インターネット相談の始め方」研修

ーネット・SNS相談の導入方法と介入技法ー

2019年4月に発表された厚生労働省「自殺対策における SNS 相談事業ガイドライン」に「SNS を活用した相談に関する作業部会委員」として関与した講師が管理職向けにインターネット相談を始める方法についてお話しします。

後半は具体的なインターネット上での援助技術について、OVAシニアコンサルタントがお伝えします。

研修内容

午前の部
10:00~13:00 管理者向け研修
「ネット・SNS相談の概要と導入方法」

- ネット・SNS相談をめぐる社会の動き
- SNSやインターネットの安全に関する動向
- メリット・デメリットと必要性
- 導入の手順と活用できるツール
- 質疑応答・個別質問

午後の部
14:00~17:00 支援者向け研修
「ネット・SNS相談の技法とノウハウ」

- 概要とメリット／デメリット
- ネット・SNS特有の介入スキル
- 事例検討グループワーク
- 質疑応答・個別質問

※各部のみのご参加、両部のご参加いずれも可能です。
希望される内容に応じてお申込み下さい。

このような方におすすめ

- SNS・チャット・メール等での相談導入を検討している支援機関の方
- メールやSNSを使った相談支援の現状について知りたい支援機関の方
- 導入の方法だけ知りたい／相談のノウハウだけ知りたい支援機関の方
- 導入の方法とノウハウについて一度に知りたい支援機関の方

開催詳細

開催日：2019年6月5日（水）
10:00~13:00（午前の部）
14:00~17:00（午後の部）
参加費：各部参加 2,000円／1名
全日参加 4,000円／1名
定員：各部30名
（各部1機関2名様まで）
場所：東京都新宿区大久保2-12-7
大久保地域センター

講師

伊藤次郎（いとうじろう）／午前の部

NPO法人OVA 代表理事 精神保健福祉士。個人情報保護士。学習院大学法学科卒業。EAPプロバイダー、精神科クリニックでのリワークなど働く人のメンタルヘルス対策に従事。2013年6月末に検索連動広告を用いてインターネット相談を受け付ける「インターネット・ゲートキーパー」を開発・実施し、NPO法人OVAを設立。

2017年に起きた座間市における事件後には、ロサンゼルスタイムズ、朝日新聞「社説」など国内外のマスメディアに多数コメントが掲載され、規制よりも支援・受け皿の必要性を訴えた。内閣官房の有識者ヒアリングや関係省庁へ要望書を通じて、ネット上にあふれる若者のSOSの現状とニーズに合わせたインターネット上での相談窓口設置の重要性を国に訴えた。厚生労働省 SNS を活用した相談に関する作業部会委員として、ガイドラインづくりに関与。国や市区町村の自殺対策に関わる委員や国内外で講演・論文投稿を積極的に実施。

お申込み方法

メールもしくはお電話にてお申込み下さい。
件名：6月5日研修申し込み
本文：①参加を希望される部 ②参加者氏名
③ご所属 ④当研修をどこで知ったか
メールアドレス：info@ova-japan.org（担当：土田）
電話番号：03-5358-9580
主催：特定非営利活動法人 OVA



清水幸恵（しみずゆきえ）／午後の部

臨床心理士・公認心理師・精神保健福祉士。
修士（臨床心理学／東京学芸大学大学院）

精神科病院にて、グループワーク、カウンセリング、心理検査、心理面接等の心理業務に加え、精神保健福祉士として、慢性期病棟・急性期病棟にて退院援助なども行ってきた。他、保健所でのSSTや引きこもりの若者を対象としたグループワークにも携わってきた。OVA立ち上げ時から参画し、シニアコンサルタントとして相談員を育成。自殺のリスクアセスメントと危機介入に関する講師も行っている。